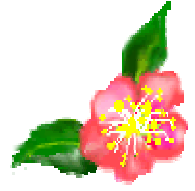


船橋 YMCA 通信



No.50 2009年9月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



八栄小で車椅子体験教室

7月1日(水)に船橋市立八栄小学校(船橋市夏見5-27-1)で、6年生の児童167人を対象に車椅子体験教室が開かれました。この車椅子体験教室は、八栄小では2回目、船橋市内の小中学校では12回目の開催です。



《体育館での最初の挨拶と自己紹介の様子です》

この体験教室は、小学校の総合学習のひとつの取り組みとして開かれたものです。車椅子の指導には、千葉YMCAチャリティーランに車椅子でチーム参加している船橋市障害者友の会および車椅子レクダンス普及会「矢車草」の皆さんを始めとするボランティアの方々13名とYMCA学院高等学校の生徒10名が参加しました。



《マットを乗り越えるやり方を学んでいます》



《運動用のマットを乗り越えました》

車椅子体験教室の感想文 1

車いすに乗る時は押してくれる相手のことを信頼しないと段差の所などでこわく感じてしまう。車いすに乗っている人にしかわからない不便さが、社会にはたくさんある。だから車いすに乗っている人は大変なんだなと思いました。

だからこそ私は車いすなどで困っている人がいたら勇気を出して「手伝いましょうか」と声をかけて、困っている人の役に立てるといいなと思います。そして、何より障がいのある人も障がいのない人もみんなとともに、生活のできる社会になっていくといいな—と私は思います。(抜粋)

車椅子体験教室の感想文 2

私が車いすに乗った時はすごく楽しいと思った。でも後から思い返してみると、車いすに乗る人は乗りたくて乗っているんじゃないと思うとやっぱり、車いすに乗るといことはいやなのかなあとすごく思いました。

でも車いすに乗っている人は、車いすに乗れて楽しくなったと言っていました。それは前までは

足が悪く、走ったり、外出が出来なかったと言っていました。でも車いすに乗って走れるし、外出もできて、うれしいし、楽しいと言っていました。おどろきました。

車いすというのはいやなものだとばかり思っていたけれど、車いすは障がいのある人の暮らしを楽しく、豊かに、快適にできるものだと今日初めて学びました。

道で段差があり、困っている人がいたら助けをあげるようにこれからは勇気を出して行ってみたいと思います。 (抜粋)

チャリティーラン10/17に開催

第12回千葉YMCAチャリティーランは、10月17日(土)に船橋市運動公園で開催されます。

チャリティーランは、障がいのある子どもたちを励ますための寄付を集めるイベントであると同時に地域交流、健康増進のイベントでもあります。

チャリティーランの益金は、YMCAの障がい児を対象とした活動や地域の障がい者施設の支援に使われます。

チャリティーランに関するお問い合わせは、千葉センターの鶴岡(TEL:043-222-3811)まで。

ふなばし市民まつりに参加

船橋YMCAは、7月25日(土)に行われたふなばし市民まつりの「ジョイ&ジョイショッピングフェア」に参加しました。当日は、お天気も良く、参加者も去年よりは増えている感じでした。



《今年のお店もダンスステージの近くでした》

今回は、YMCA学院高等学校の生徒7名が売り子として協力してくれました。売値が100円以下の商品を大きな声で売った結果、売上げは3,946円になり、全額を国際協力募金に寄付しました。

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの7月、8月の活動記録です。

- ・7月4日(土)チャリティーラン実行委員会
- ・7月11日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
作品：かわいいサンドウィッチとおいしいミニピザをデザインしよう!

参加人数：4名



《おいしそうなものが出来ました!》

- ・7月12日(日)わんぱくクラブ7月例会
場所：青葉の森公園
内容：ゲームハイク
参加者：7名



《橋の上にて全員で記念撮影》

- ・7月14日(火)中期計画策定委員会
- ・7月25日(土)ふなばし市民まつり ジョイ&ジョイショッピングフェア出店
- ・8月17日(月)チャリティーラン事務局会議
- ・8月31日(月)中期計画策定委員会

編集後記

小中学校の車椅子体験教室は、船橋YMCAの社会貢献プログラムとして定着して来ました。子ども達が障がいへの理解を深める場として今後も活動を続けて行きます。 (槇)